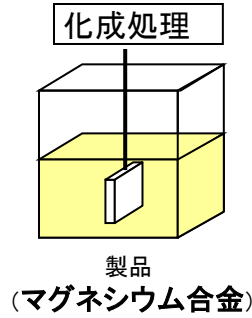


マグネシウム合金の高性能表面処理技術

従来技術

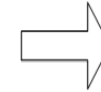
マグネシウム合金

化成処理
(化学的処理)



化成皮膜
マグネシウム合金

- ・導電性：不均一
- ・耐食性：不良

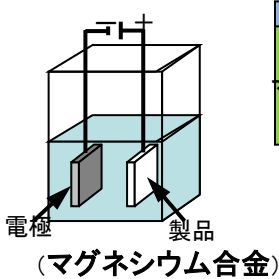


電子機器の筐体
耐食性が低いため
数年で本体が腐食

開発技術

目的：耐食性の高い陽極酸化皮膜をレーザートリミング技術により除去し、導電性を確保する
(アース部分のみレーザー処理で皮膜を取り、導電性を確保する)

陽極酸化処理



陽極酸化皮膜
マグネシウム合金

耐食性 ◎
導電性 ×

レーザー照射

陽極酸化皮膜
マグネシウム合金

陽極酸化皮膜の一部
除去(レーザー照射)

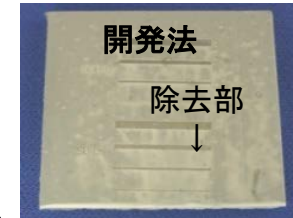
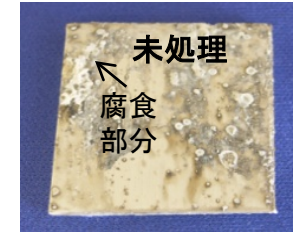
アース接点

マグネシウム合金

耐食性 ◎
・犠牲防食性の皮膜
導電性 ◎
・マグネシウムの一部露出

犠牲防食作用「自分が優先的に溶解し、素材(マグネシウム)の腐食を防ぐ」

腐食試験後



塩水噴霧処理

開発技術
1000-2000時間

化成処理法
48時間